

| | | | | | |
|------------------------|--|-----------------------|---------------------|-----------------------|------------------|
| <保育目標> | 心をこめて 手と手と手と(みんなの力で) “ WE LOVE 竜神” | | | | |
| | ゆったり ・わくわく ・どきどき“楽しいこども園” 『発見』『もっと』『楽しい』『すごーい』を見つけよう | | | | |
| <目指す子ども像> | <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%;">た : たくましい子</td> <td style="width: 25%;">つ : つよくやさしい子</td> <td style="width: 25%;">の : のびのびと表現する子</td> <td style="width: 25%;">こ : 心豊かな子</td> </tr> </table> | た : たくましい子 | つ : つよくやさしい子 | の : のびのびと表現する子 | こ : 心豊かな子 |
| た : たくましい子 | つ : つよくやさしい子 | の : のびのびと表現する子 | こ : 心豊かな子 | | |

<園の強み> 昨年度の効果

- 個人の目標を貼りだすことで自分の保育の見直しや他のクラスの考えも理解する機会であった。誕生児を朝礼ノートに記入し朝礼で発表することでみんなが共通理解し声をかけることができた
- アレルギーや衛生面の話し合いが具体的にでき共通理解ができアレルギー対応、消毒処理嘔吐対応等誰でも、瞬時にできるようになった。
- 職員会が増えたことで行事の内容についてより多くの職員で考えたり、共通理解ができた。
- 怪我のしやすい場所を目に見えるように掲示したことで、注意したり子どもたちに伝えられたりすることができ良かった。
- 地域の方たちを写真で紹介するのは、協力体制を伝えられるという意味でもよかった。

<園の弱み> 今年度の課題

- 園の方針や目標を立てている人はそれぞれに課題を持っているがそれぞれが思っているだけで深まりがない。
- 連携といえながら具体性がない。実際にどんな場面が必要か具体的に全員が共通理解をしていく。
- 安全指導面は係りがあるのに機能していない。ノートに書くだけでいいのか、看護師さんも含め原因、対応をはっきりさせていかなければならない。
- 職員会の内容、進め方等まだ工夫する必要がある。
- 保育者もワクワク楽しみながら環境構成や雰囲気作り、保育のできるような職場に持っていけるとよい。

A<改善>

<園の強み>

人数が多いためいろいろな意見が得られると共に行事の準備など分担しやすく手助けしてもらえたり、協力し合ったりできる。若い職員が多く活気がある。明るく元気が良い。保育者同士仲が良い。職員が多いので子どもの要求に合わせて対応できる。子どもの成長を共感できる。こどもが元気が良い

<園の弱み>

地域の方と交流が多くあり、たくさんの経験ができる。職員会を増やしたことで保育内容がより具体的になり分かりやすくなった。朝礼ノートは共通理解ができ、忘れないので活かしている。

<園の弱み>

人数が多いがゆえに報・連・相が行き届かない。特に、パートの職員までは伝わらないことがある。職員会等意見がだしにくい。学年会がすくない。学年で話すことが少なく、説明がわかりにくいことや分からないことがある。若い職員が多いがゆえに経験が浅く話し合いも不十分 人任せになりやすい。全く話したことのない職員もでてしまう。人数が多いため使ったものが元に戻らなかったり、机の上に物を置きっぱなしになっていたり無責任になりやすい。園舎が古いこともあり掃除をしても見た目が美しくならない。保育者としての身だしなみ、言葉使いが乱れている。(プライベートと保育者の区別)

| <重点努力目標> | P <内容> |
|---|---|
| ① 子どもの最善の利益を実現するため、環境の充実、保育の在り方を考え、更なる保育の質の向上を目指す。(保育の質向上部会) | <ul style="list-style-type: none"> 園内研究の充実を図りテーマをもとに保育内容の理解を深め指導計画、研究保育、『エピソード』記録の分析等を通して、保育者の指導力の高め方、子どもへの関わりの在り方を学び合う。 子どもがワクワク、生き生きと活動に参加できるよう環境構成の充実を図り、その内容結果を確認し合い、保育に活かす。 新任研修を充実していくと共に、中堅者も積極的に園外研修にも参加し自己研磨に努める。保育内容の共通理解をし、『明日も行きたくなるこども園』をめざす。こどもが生き生き活動できる環境構成の充実を図る。 それぞれの役割の中で、創意工夫していくとともに、活動の意義を明確にしていくとともに共通理解に努める。 |
| ② 保育者、保護者、地域が協力し合うことで活力ある園を目指す。苦情を受け止め即、改善改革することで信頼され地域に根差す園作りに励む(みえる化部会) | <ul style="list-style-type: none"> 改善改革をするにあたっては全員で話し合い共通理解をする。報告・連絡・相談を密に行い連絡漏れのないように努めるとともに同じ気持ちで行事、行う。(職員間) 保護者と保育師の関係を強化するため、親近感もてる取り組みを講じる。職員紹介写真にメッセージを加えるなど保育者のことを知ってもらう。保護者会との連携を密にとり、苦情、意見を受け止める機会を作り反映していく(対保護者) 地域とのコミュニケーションを可視化し園と地域との関わりを保護者にも周知し保護者と地域の関係性も強化する。園・保護者・地域が三位一体となる情報共有をする(対地域) |
| 安心安全に繋がる危機管理体制活用の徹底と強化を図る。(安全衛生部会) | <ul style="list-style-type: none"> 病気やけがの予防や応急処置の方法を共有する。アレルギーや与薬管理について情報の共有と強化を図る 場研修及び各部会、朝礼において危機管理について情報を提供するとともに園児にも安全指導を浸透させる。 視覚化した園内外のヒヤリハットをより見やすくすると共に、アップデート周期を短くする。 |

C 総合評価

今回第三者評価を受けることにより職員間で話し合う機会が多く持たれたことは職員が保育内容及び行事の取り組みに対しての共通理解するうえでよい機会であった。特に職員が多いということは伝えたいつもりでも伝わっていかずたり、理解を得られたと思っても考えが違ったり、全員が共通理解するということは中々大変であることが分かった。園内研では、事例分析を十分行い子どもたちが体験していること、気づき、育ちなど環境構成を考えていくことが今後も必要である。そのためには、写真に納めたり、ビデオによる子どもたちの姿をもとに同じ視点で考察していくことが共通理解につながっていくのではないかと考える。保護者に園の様子を理解してもらうためには、機会を見つけ園目標や園の理念について知らせ協力を依頼したり、共に育むという気持ちを持ってもらうようにしたりする必要がある。老人施設や、交流館、学校等には園側からも依頼し、地域の中の園として交流してもらいながらいろいろな方がいること気づかせたり、かかわり方をつたえたりしながら大事に取り組ませていく必要がある。

| 1 期 | | |
|-----|--|--|
| | D 実施 | C 評価 |
| ① | 園内研究をもとに環境の工夫、保育内容の充実を図る(エピソード記録を分析、考察、研究保育)リーダー会、学年会、行事等の見直し、意義についてより具体的に考える | 乳児は3年齢。連携を図り廊下に机を出したり、年齢にあった玩具を作ったり室内を広くし活動しやすした。使われていない跳び箱や鉄棒、タイヤを出すことにより挑戦意欲や友だちとのコミュニケーションの機会が増えた。 |
| ② | 保育内容をより理解するために活動内容を写真で掲示し共通理解していく 積極的に挨拶を心がける気楽に意見の言える職員会、学年会ができるようにする。職員室のドアを透明に見やすくする。 | 保育内容については、写真やそこで育っている内容について掲示し理解してもらえようにした。保護者が職員室に入ってきやすいように、ガラスを透明にするともに、相談事、苦情など話しやすしたことで、園の様子が理解してもらいやすくなった。 |
| ③ | 保健安全指導を年間計画のもとに職員が全員受け、実践し身に着けていく。(職員会、パート会、加配会、公務手会)アレルギー児は聞き取り、確認をしっかりと実施していく、マニュアルを掲示分かりやすくしておく | 看護師の年間計画により、嘔吐処理、救急対応 AED の扱いなど職員全員が実施指導を受けいつでも対応できるようになった。大きなヒヤリハットはないが2歳児は成長と共に動きが激しくなり転倒、引っかき合いなどのトラブルが多い |

| 2 期 | | |
|---|--|--|
| A 改善 & P 計画 | D 実施 | C 評価 |
| リーダーが中心で保育内容を伝えていくとよい。また若い先生も謙虚に受け入れる必要がある 職員会を減らし学年会、幼児会を充実させていったほうがよい。 園内研究を充実させ、考察をもとに保育内容の向上に努める。 | 運動会、生活発表会などで、子どもたちの姿を見てもらう機会が増えた。 5歳児は行事が多く、行事に振り回されてしまっていることがある。 | 職員会を少なくすることで学年会を持てる機会が増えたが職員会の立案の次元で簡単に済ませ共通理解が浅い。研究保育での反省が生かされているか |
| 見える化にするためには職員の共通理解が必要である。写真提示に向けて積極的に場面を把握していく。保護者に子どもの様子を伝えるとともに、成長を一緒に分かち合えるように問題等起きた時には園長、主任に相談するとともに園の問題としてみんなと伝える。 | パート会、加配会、公務手会等各会ごとに園長、主任、看護師が参加し、職員会に出た話題、保健に関する内容、救急処置等共通理解を図る。 写真及び保育内容の掲示、地域の方々との交流もアピールする | 主任が写真、ビデオで子どもの活動、地域の方とのかかわりを撮影し園内に掲示することにより、写真としてみるようになった。パート会、リーダー会、加配会等で報告することで浸透しやすくなった。 |
| ヒヤリハットは事後報告ばかりでなく原因、対策を話し合い予防をみんなで行ってほしい(看護師指導と重なってしまったため)コーナーに貼るようにする。アレルギー一覧表に追加し朝礼で職員に報告し共通理解する。ホームページの充実と子育て相談のアピールを工夫する。 | 知っ得コーナーは途中からやれなくなってしまった。(看護師指導と重なってしまったため)怪我、病気等担任がなくなってしまう。またアレルギーで追加された子も知らされていないことがある。追加し全員で共通理解する。 | 看護師を中心に徹底することで全体に浸透できた。月に一度たよりを発行したり、今月の目標を決め、共通理解をすることでより具体的になった 12月頃からは少しずつ身体測定や相談に見える方がでてきた。 |

| 3 期 | | |
|--|--|--|
| A 改善 & P 計画 | D 実施 | C 評価 |
| リーダー会の充実を図り、課題を提案しみんなで考えてみる機会を提案する。保育士の考え方(身だしなみ、行動等)卒園式の持ち方等具体的にいろいろな考え方があることに気づき園としての方向性をみんなで考える機会を作る | リーダー会の充実。行事の流れを発表し合うばかりでなくより具体的にしていって。みんなで話し合うことにより職員の一員であることみんなの問題であることを意識する | 行事に追われて環境の見直しの話し合いが十分でない。リーダーの意識を高めていきたいが経験の浅い保育者が多くじっくり取り組んでいく必要がある。園内研究の充実が必要。 |
| 写真の提示をただするのではなく、10の項目や3本の柱からの気づきを一緒に記入することによって保護者や職員に周知するようにする。パート会で報告するとともに職員会の記録を(意見や具体的な内容)も見やすい場所に置くようにする。 | 担任の方から子ども達の姿に対する報告が出てくるようになった。意見が出しやすくなりそれぞれの部会でより具体的な意見が聞けるようになった。またビデオの活用も考えたい。 | クラスの偏りが出てきた子どもたちを見る目を共通理解しい保育内容を深めていく必要がある。ビデオを通して保育を振り返りみんなが内容を深めていけるようにしたい |
| インフルエンザ等の感染症に関しては用紙で配布するとともに各部会ごとに看護師が参加し具体的な指導にあたる。手洗いうがいの徹底を図るために出席版のようにOxを準備し保護者に付けてもらうとともに各担任が手洗いの方法を再確認し励行を促していく。 | 感染症予防に関しては保護者にも意識できるように呼び掛けた。コロナウイルスが流行を防ぐために徹底して実践する。ブランコによる怪我があり固定遊具に対する取り組みの工夫をする。年齢ごとに指導を統一する。 | コロナウイルスにより手洗いの徹底は図れるようになった。習慣化を図っていく。固定遊具は扱い方、安全面での注意等年齢ごとと統一し、延長保育の担任とも連携を取り合うようにしたい。 |

※記入枠は、各園で調整し使用する。

※保育目標から重点努力目標、内容までを、職員で検討し5月10日までに、今年度のまとめは、3月9日までに完成させ保育課へ提出する。